

目指す学校像

地域とともにある

勢いのある学校

No. 12 (R元. 7. 4発行) 文責 校長 福田雅也

高き志【こころざし】

人権課題の解決に向けて

私は、校長先生の話聞いて、「四つのあ」が人権に関わっていたことは知らなかったし、考えていませんでした。「四つのあ」は次の人のためや周りの人のためでもあることを知り、周りのことを考えて生活していくことが大切だということ学びました。

この文章は、先週号に書いた内容について、私が全校集会で話した後、ある6年生の児童が書いてくれた感想の一部です。先週も書いたように、高木小学校は現在「人権旬間」の期間中です。上の感想以外にも、「私は『安全』は自分のためだけだと思っていました。でも校長先生が『周りの人のための安全でもある』とお話してくださったおかげで、「安全」というものの見方が変わりました。スリッパも『次の人のために』ならべたいです。」等、6年生は、私の話から「他者意識」と「人権意識」とをつなげて考えてくれたようでした。

「熊本県人権教育・啓発基本計画」…この計画をご存知でしょうか。これは、文字通り、熊本県が推進する人権教育と人権啓発の内容やその推進計画を明示したものです。平成16年の3月に策定され、その後3回の改訂が行われています。その中に、「人権の重要課題についての現状等」という項目があり、次のような「人権課題」が示されています。

- 1 女性の人権
- 2 子どもの人権
- 3 高齢者の人権
- 4 障がい者の人権
- 5 同和問題
- 6 外国人の人権
- 7 水俣病をめぐると人権
- 8 ハンセン病回復者等の人権
- 9 感染症・難病をめぐると人権 (ア) HIV感染症等をめぐると人権 (イ) 難病等をめぐると人権
- 10 犯罪被害者等の人権
- 11 拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害
- 12 インターネットによる人権侵害
- 13 様々な人権課題 (ア) アイヌの人々の人権 (イ) ホームレスの人権 (ウ) 性同一性障がい・性的指向をめぐると人権 (エ) 刑を終えて出所した人等の人権 (オ) 新たな人権課題等

これを見てどう思われますか。捉え方は人それぞれだと思いますが、項目数が多いと感じませんか。言い換えれば、現代社会にはこんなにも多く「人権課題」が存在しているということです。これら多くの人権課題解決のきっかけにと、いくつか少し具体的に考えてみました。

「女性の人権」…家事や子育ては女性の役目。まだまだ、このような認識が染み付いていないでしょうか。そう考えているのは誰でしょうか。考えや行動を変えなければいけないのは誰でしょうか。…そう、「男性」なのです。

「子どもの人権」…「子どもだから」という理由で子どもの意思を尊重していないのは誰でしょうか。子どもを虐待しているのは誰でしょうか。考えや行動を変えていかなければいけないのは誰でしょうか。…そう、「大人」なのです。

「同和問題」…自分には関係ないと何もしないのは誰でしょうか。差別しないまでも、無関心なのは誰でしょうか。相手の気持ちを考えることができず差別しているのは誰でしょうか。考えや行動を変えなければいけないのは誰でしょうか。…

人権旬間で、各学年の子どもたちは、様々な視点からの人権学習を行います。しかし、学校教育の中で、上にあるような人権課題をすべて網羅して学習することは不可能です。ですから、視点を絞って、それぞれの学年に応じた人権学習を行うことにより、自他の人権を守ろうとする意識・意欲・態度を身につけ、行動につなげようとしています。それができれば、学習していない人権課題に直面しても、それを解決していく立場に立つことができ、正しい対応ができると考えているのです。

明日、7月5日(金)の授業参観は各学級の「人権学習」をご覧いただく予定です。また、講演会では「水俣病を語り継ぐ会」の吉永利夫さんから「水俣病から偏見・差別を考える」という演題でお話をさせていただく予定です。本校の人権教育の一端をご覧いただくとともに保護者の方々の学習機会にもなるのではないかと思います。多くの保護者や地域の方々のご参加をお待ちしております。